THE WOMAN'S WEEKLY

第三卷 第三十八號

大正六年九月廿一日發行（每週金曜日發行）

大正四年十一月四日 第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□時事週評……小橋三四子
□庭の小草……野口幽香子
□ゲンスビン［illegible］「音譜に生くる久野久子女史」……
□古賀液の發明を助けた博士夫人……［illegible］子
□讀者から……
□婦人界開拓者の家庭訪問「芳賀博士と其夫人」
□院展二科を窺いて見る記……［illegible］民子
□身體異狀の兒を持てる家庭に……澤田新［illegible］
□子供の時は成るべく避けたい……淺田みか子
□［illegible］茄子の料理……一記者
□足袋と蚊帳の補綴……河口［illegible］子
□［illegible］「自然兒」……［illegible］子
□［illegible］「月夜の市」……波［illegible］子
□子供のおはなし ▲尼さまの犬……
□小說「犬と彼等」……高園てい子
□時事［illegible］……

定價一部四錢五厘 郵稅五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

神奈川縣川崎町 東京電氣株式會社
電話川崎五〇。一〇一。一〇二。一〇三。一〇四
販賣出張所 東京 横濱 名古屋 大阪 門司 福岡 仙臺 札幌 大連 上海

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事週評

反省と修養

早稲田大學の紛糾は、益々其の程度を加へ、宛然小露西亞の革命を見るの感があります。私には何となく此の事件の成り行きが、感慨深く見守られます。從來の學校騷動は火の手が揚るや否や、其の首謀者の數人が處罰されて、學生等が抱く改革の熱望は一も二もなく反逆視され壓迫し去られて、大方は不利の地位にある學生の泣寢入りに甘んずるを常としました。今回の早大の騷擾に於ても、一旦はこの方法で治められやうとしましたが、何等かの堅き確心を抱く學生等は、其の運動を續けて、最後の目的を果さうと致して居ります。聞く處によれば、民本主義を標榜し、自主獨立の氣風を鼓吹するかの如く見えた同校が、近時著しく官僚臭味を加へ、秘密主義に傾いて來たのが、青年學生等の反感を招いたによると申します。治者と被治者の心が全く疏通する事は、其の團體が大きくなればなる程困難な事は勿論でありますが、然し治者の位置に起てば、多年の惰性として、專制に傾き、不明に陷り易いものであります。而して遂には衆の意志を問ふの繁を避け何事も秘密主義に事を決し、命令的にこれを行はしむるやうになるのであります。幼稚園教育に於てすら、モンテスソリー女史は絶對に命令的に出ないのを理想として、其の教育の革新を計らうとして居られます。況してや大學教育に於ては、生徒の意志を尊重し、人格を認める事が充分になければなりませぬ。この位の事は解り切つて居られる教授や理事等が、其の實績を擧げ得なかつたのは、遇々これ等の人々の反省修養の不足を語るものではありますまいか。一旦校門を辭し、社會に起ては、螺旋を卷くことが忘り勝ちになりいつしか昔の型に欲つて終うのは、深く戒めたいことであります。只學生側に望みたいのは、どこ迄も野次的騷擾を戒め、紳士の態度を以て、建設的に事を運ばれたいことであります。

奥様藝

目下開會中の院展、二科を通じて、婦人の入選は二科に僅か三點あるのみである事は、前號に報道した通りであります。新聞は頻りに珍らしやかに此の三婦人を訪問し、其の作物を紹介しました。私は早く見度さに、寸暇を見て上野に走りました。二科會に入るや否や、最初に一二、三號と、これ等婦人の作が掲げられてあるのを見た私は、苦笑せざるを得ませんでした。埴原久和代女史の「顔」と「少女」を除いては、何れもほんの奥様藝に過ぎず、男子の作なら、とても入選が覺束なからうと思はるゝものでした。然るに世間には此の三點の方が、他の幾多の作品より聲高に紹介せられて居るとは、こゝ迄婦人の事業はまだ珍らしい時代であらうかと、かたはら痛い事に思はるゝのでした。それにつけても、私の知つて居る婦人丈けでも、美術を愛好し、其の研究に若い日を傾けた人々が五人や七人ではないものを、結婚や生活難等によつて、其の藝術を、眞摯に哺み終

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うせんとする者の極めて少いのを惜しますには居られません。而していつ迄もこのやうに男女の間に置かれたハンデイキャップに甘んじて居られませうか。婦人の自奮を促したいものであります。

女教員大會近づく

別項に詳報した通り、小學校女教員大會は、愈よ十月廿日から三日間帝國教育會に於て開催せらる丶事となりました。提出された諸問題を見れば、婦人問題の根本とする男女の優劣は、何から生じて來たかといふ至難の問題の解決から、出立しなければ、容易に判斷する事が出來ない事です。今日直ちにこれ等の問題の解決を見ずとも、只現在の事實を公平に認める事が、將來これ等の問題の解決を見る第一歩なるを考へ何れも謙虚な心を以て、この會を終始されたいと思ひます。婦人大會であるからと云つて、徒らに婦人が負け惜しみを以て、事實を辯護する事は、決して喜ぶべき事ではないとぞんじます。

粗製濫造の取締り

歐洲開戰後、日本の諸製品が支那、南洋、印度、濠洲等へ、歐洲品に代つて輸出さる丶ことになると同時に、粗製濫造の批難が、輸出先きから我が領事を通じて度々傳へられます爲め、政府は之れが取締の必要を認め十七日官報を以て先づ燐寸、硝子、琺瑯鐵器、眞田等の四種の輸出品に對して、嚴重な檢査を行ふことを農商務省令として發布しました。單に輸出品のみならず、國民の日常も、粗製濫造のもの丶多い爲めに、どんなに浪費して居るか解りませぬ。商業道徳を高める事は、兵器製造にも勝る目下の急務と申さねばなりませぬ。

自動車の墜落

基督教女子青年會の音樂部主任の某米婦人を載せた自動車は十五日夕刻上野に向はんとして途中お茶の水に差しかゝるや、電車、自轉車、荷車の輻輳に避け場を失ひ、遂に柵を突き破つて、三丈餘の崖下に墜落しました。幸に婦人も運轉手も助手も輕傷だも負はなかつたのは不思議な事とされて居ります。かの英國の有名なる高徳の士キングの監督が、山林を旅する時、之れに尾行して殺害せんと企てた惡漢あり當に氏に近づき刺殺せんとする刹那に强大なる一人の男が兩者の間に現はれて立ち塞がり、其の目的を果さなかつたのを、後ち惡漢が捕はれて法廷に立ち自白するに及び、キング監督は初めてこの迫害を知り、人々は監督の神と倶なる生活が知らざる間にも此の守護を與へたのであると申した事も思ひ合さる丶眞に天佑といふ外ない事であります。件の米婦人は水に入ると直ちに岸に泳ぎ着き、車に乗つて歸宅し、翌日は平氣で或る席で獨唱したと申しますが日頃から身體の訓練宜しきを得て居つて、かゝる奇禍を輕からしめた事は少しの事にも膽を失ふ婦人等の大に學ぶべき處でありませう。(三四子)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

庭の小草

神の愛の囁き

學習院幼稚園主任　野口幽香子

□神の稜威を感ずる場合

自然を通して神に觸るゝには二つの場合がございます。彼の高山の頂きや、深林の中、雲の去來、大海の怒濤、もしくは小さい庭であつても、嵐の狂ひ、夕立が來やうとする天の慘憺たる時、夕燒け雲、空に輝く星、果てしもない蒼空等、實に莊嚴雄大の方面から觸るゝ神、その場合はいかにも嚴かな神の稜威を感ずるのが常でございます。

□小さい千振りの心

これと共に極めてさゝやかな名も無い雜草の中で、私は屢々神に見ゆるのでございます。狹い私の庭に蹲んで、あへかな小さい草を窺き込んだ時、何とも云へぬ神の巧みと愛の囁きとが其處に秘められて居るのを感ぜずには居られませぬ。私はせんぶりが好きで、毎年庭に種子を下ろしますが、どうしたものか嘗て芽を出してくれませんでした。然るに二三日前庭に下り立つて、苔蒸した岩の上にふとせんぶりの一二本を見付け出しました。私は「こゝがよいのか」と思はず小さい植物に心から話しかけました。私はいつも此處に花が咲いて欲しと思つて種子を蒔いても、其處には一向生ひ立たずに、思ひ掛けぬ方面に其の花を見る時に、私の願ひと、植物の心とが一致しなかつたのを悔い、まだ種子の心を知らなかつたと曉るのでありますが、いせんぶりなどもまたそれで、庭の土が緻密過ぎて重いのが氣に入らずして、却つて少し斗り風に吹き上げられて溜つた岩の上の輕い土が好ましかつたと見えて、其處に生ひ立つたのであります。私にはせんぶりの心がもうよく解つたやうに思はれて、生きたものとして、話が出來るのでした。

□植木棚の小鉢の中

私の秋の樂しみの一つは、植木棚にある直徑五分から二三寸迄の小さい鉢に、いろ〳〵の小草の生えて居るのを見る事です。嘗てはこれ等の鉢に高山植物を植ゑたのでしたが、幾何もなく枯れて終ひました。然しその儘に冬は霜よけをして置いて、春に遇はせ、夏を越させてこの頃になると、何處から種子が飛んで來たものか、いろ〳〵の草が生えて居ります。その草はどんな名でもよく、よし觀賞に値せぬ雜草と人は申しませうとも、私はその中に何とも云へぬ可憐な愛を注ぎ得るのでございます。よく〳〵見て居りますと、薄もあり、萩もあり、姫をとぎり草もあり、雞頭もあり、しかも皆小さい鉢の中を天地とする事とて、何れも五分、一寸、二寸の小さい莖に、葉をも、花をも付けて居ります。雞頭なども、五分位の高さにありながら眞赤な葉をつけて居るのが、堪らなく可愛く、どの鉢もそれぞれの趣があつて捨て難うございます。僅か二寸の鉢の叢に「草より出でゝ草に入る」といふ茫漠とした武藏野の風光も忍ぶ事が出來れば、一本の小草の生ひ振りに、亭々たる熱帶の椰子樹の俤をも忍ぶことが出來ます。先年弟が病床に在つた頃（弟君は野口工學博士にて數年前故人となりし方）二寸斗りの鉢を携へて行き、「どうです、武藏が見えんか」と申しますと、弟につく〴〵「姉さんは藝術家ですね」とて、笑らはれたことがありました。

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□我れは富める者

私は花に色のある事が、何といふ恵みであらうかと始終思ふのでございます。學理上から云へば蟲の注意を惹く爲めと申しませうが、それならば赤一色でもよさゝうなものを、赤にも眞紅もあり、緋もあり、紫、靑、黄等其他の色にしても千差萬別があり、目に入るか入らぬ小さい花に迄、美しい色を持つて居ります。そして私共を慰めてくれます。夏に水さへ澁らさなければ、少しの土のある鉢の中にさへ、何といふ事なしに小草が生えて、可憐な花をつけたり、葉を染めたりして居ります。仔細に觀察すれば、其の小天地に人間界にあるやうな生存競爭もあれば、豊かな恵みも溢れて居つて、さま〳〵の神の訓へを語つて居るかのやうに見えるので、屢々見惚れて終うのでございます。そして「ソロモンの榮華の極みの時だにも、其裝この花の一に及ざりき」と申す聖句を思ひ合せ、花の王なる百合ばかりではなく、無名の雜草の中にも、なほソロモンの豪奢も遠く及ばぬ美を保つて居ると思ふ時に、自分の如何に富める者かを感謝せずには居られませぬ。

四

インスピレーション（四）

音譜に生くる

久野久子女史

▲素朴な、鄙びやかな婆やさんが私を應接間へ導いて出ていつた。『先生は今直ぐお越しになりますから、暫くお待ち下さいまし。』と言ふ言葉など何處となく懐し味のある田舎めいた女である。小走りしてお花を持つて來たり、お茶を運んだりすると、一寸カーテンの曲んだ所を直して出て行つた。低く垂れた雲の破れ目から、チロ〳〵と朝日がもれて窓框にもつれてゐた。それは此の間、東京音樂學校の教授になられた久野久子女史をお訪れした朝の一時である。女史は間もなく出られた。絽の浴衣の上に羽織を召てゐた。

▲『インスピレーションを受けた時ですつて？』と美しい眼をびつくりしたやうに見張り、『私は此の前、あの自働車の件につき世の人々からいたゞきました御親切の有難さ限りなくよろこびし時などは強くうけました。また其の他、生れてはじめて雄大なオーケストラを聞いた時や、神秘的なコーラスを耳にした時などは涙が滲むやうに覺えました』とその昔を偲ぶやうに言葉をお切りになる。十餘年前に、あれがピアノと言ふものださうな、と人から聞かれたその女史は、今はピアニストとして、斯界の權威と歌はれてゐる。女史は言葉をつゞけ、

▲『私が音樂學校の豫科を卒へた時に獨演奏せねばならなくなつて、一心に勉強しましたのに思ふやうにゆきませんのが、なさけなくて幸田先生のお部屋へ參つて泣いたこともございます。彼樣なことなどもきつと一つのインスピレーションだらうと思ひます。また其他に受ける時につきて申すなら假へばそれが音樂なら(何事でもですが)一つ〳〵の音譜がもつれ合つて音譜の通りに彈かれて形が出來、そして其處に底力、或は熱情と申しませうか、火が燃えたつやうな、生血の漲つたもの、さうしたものから受けます。それは形ばかりでなく、其れ自身に呼吸してゐる生きた藝術であるからでございませう。そして善であり、審美であるからでございます。』と、然う仰有つた。私は音譜の中に生きてゐられる女史を遠き世界の人のやうに凝つて聞て居た

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

古賀液の發明を助けた博士夫人

敏腕な助手ともなつて

＊＊

『良人のためにその妻が苦心をするのは當然なことでございませう。』と輝かしく言つて、自分の所持品のすべてを惜しむ色もなく提供し、そして良人の研究を助け、最も敏腕な助手の役目を勸めながらその書齋を研究所として倶に研究の歩を進められた夫人があります。如何なる苦しい境遇に出會されても平然として獨りで切り拔け、心配らしい顏色を良人に見せることもなくて專心その研究に沒頭し得るやうになすつたのです。その間の苦心、夫は想像するに餘りありませう。この夫人は古賀液の發明者古賀玄三郎博士の奥様なのでございます。實に學者の妻としては模範的な方だと知る人はお慕ひ申して居ります。

＊＊

夫人は博士のためには所謂糟糠の愛妻であられます。明治卅五年に鴛鴦の契りをお結び遊ばして今日まで、夫人は博士の影のやうになつてお助けなすつてゐます。夫人にそのことを申し上げると、

『手傳ひなどを、致したと言ふほどではございませんが、唯研究と言ふものが面白く、非常に興味を感じますので……。』と微笑なさいます、夫人が博士のお側にあつて日夜お助けなすつたその研究は博士論文となつて現はれたのでございます。それは脫疽を切斷せずに食鹽注射で治せしむる研究でございます。脫疽と言へば手足の端の腐る病氣で、それまでの唯一の治療の方法は切斷して腐りを止めたものです。この研究に約五年の歳月を要したとのこと、夫人は仰有る。

『研究と言ふものはくぎりが有るやうでないものでございまして、一年の豫定であつても二年になり、三年になり、次第に長くなつて了ひます。研究の副産物が出來、それをまた研究し、研究しつゞけますので、元來は外科が專門でございましたけれど、今日は内科に移つたやうな姿でございます。』

博士は僅かに十九歳の時に開業し、二十三歳で盛岡の病院へ外科部長として赴任なさいました。それは明治三十四年だつたと申します。盛岡の病院では勤務の傍ら自身の研究をつゞけてゐられましたが、四十三年の春意を決して職を辭し、專心研究のために洋行の準備をなすつたのです、けれど京都の醫科大學でその便宜を得られるやうになつたので、洋行を思ひ止まり、家族と共に京都の正護院町にお移りになりました。當時は一二年の豫定であられたのですが、遂に大正三年の春まで伸びました。夫人が生活の苦心を人知れず嘗めなすつたのは此の時代です。そして幼ないお子さまのお世話から博士のことなど一切を一人で切り盛りをなすつたのも此の時代のことでございます。

『別に之れと言つて何も致した譯ではございませんが、唯、盛岡の病院に勤務中は下女もゐますし、書生も置いてございましたし致しますので、京都へ參つて急に一人となると、少し間誤つきました。』と、その當時を追想して述懷なさいます。

＊＊

夫人は見た所三十二三、秋海棠を見るやうな感じのするおやさしい方でございます。落ちつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いた、そして何處となく初々しくて、私がお訪ねした時は廂髪にお髪をお上げ遊ばしてゐました。

『京都時代は全くの書生々活を致して居りましたので、呑氣でほんとに樂しうございました。よく日曜日などにはお握飯を作つて親子三人で近在を遠足致しました。今でも一つ話しに笑ひますのは、或る年の春吉野へ參つた時のことでございます。それは全く喜劇で、京都を出ます時、日歸りで歸へる豫定で出かけ、往復の切符を買つて參りますと、歸へりにつひ終列車に乘り遲れて歸へることが出來なくなりました。親子三人は途方に暮れましたがと、申して何うすることも出來ません止むなく宿屋に一泊することに定めたものゝ豫定以外に所持金がないので、夜は寂しいものでございました。やつと宿泊料を拂へるくらゐで茶代も思ふにまかせません。その時主人が申しますには

『此樣なことは滅多にないことだから、思ひ切り面白い旅行をしやう。』

と言つて、歸りに畝火山の方を廻りなどして、京都の七條へ着きましたのは夕方でした。その時懷中には五厘殘つてゐました。で、電車にも乘ることが出來ないので停車場から俥を飛ばして漸く歸宅し、雨戸を開けて車夫に車賃を拂つたことがございます。』

夫人達には令息がお一人ある限り、白金三光町のお住居は靜まり返つてゐます。生垣の間から裏庭を見ると、其處には二十株ばかり、里芋が植ゑられ、艶々しい葉が日光に光つてゐました。

讀者から

斬雲氏の醫者に對する誤解

醫學士　S、K、生

斬雲氏は九月十四日の本紙にて醫者に對し不德をせめた。予は醫者皆仁者なりとは云はない、然し同氏の例が少しも當を得て居らないと思ふ。察するに該患者は外科の疾患にて、某大病院に行かれたとの事なれば、二週間入院して手術を受けて五十圓とすれば、非常に安い事である。大學病院に三等にて入院しても一圓五十錢の外に附添看護婦料七十錢にて、二週間ならば三十圓八十錢其他手術料金を別に納むる事になる。近世外科學の進歩せるは其消毒法に於ける進步より來たもので、手術室を初め、手術醫者の身體及着物等迄、普通人の思ひ及ばざる苦心が要るのである。而して痲醉を以て手術を爲す場合に於て所謂某大病院にては必ず少くも三人の醫師を要し、手術後と雖も繃帶交換の爲めに要する材料と醫者の苦心とは大なるものである。五十圓は實際に於て安いものと信ずる。軍醫學校の手術料二圓が實費と心得て居るのが誤りである。今日の藥品の高價なる場合に於て、局所痲醉によるも二圓の費用で手術は出來ない軍醫學校は手術料は取らなくもよいのを、患者をして學用に使はれたと思はせぬ爲めに取つた事と僕は思ふのである。軍醫學校の醫者の月給は陸軍省より出るが、某私立病院は醫者の爲めに月給を拂はればならぬ、看護婦も養はればならず、手術室の設備や新聞への廣告料も要する。軍醫學校や大學病院と同樣に考へるのが誤である。入院の要不要は同じ病院内でも診察した醫者の考へによるもので、軍醫學校や大學病院などで外來にて手術して結果が惡くても患者は恨まないが、私立病院にては之と反對なる故、なるべく入院せしむるのは無理ならぬ事である。斬雲氏は日本の社會に醫術衛生智識がもつと一般に行渡る必要があると言はれたが、實際、其智識のないのは驚く外はない、ある學生に「わきが」の治療の爲め外來にて手術をした所が、ある日繃帶は取つて參りましたと懐より出されて小言を云ふ元氣もなかつた。其患者には、また縫合せた糸もついて居るのである。化膿せしめずして治癒せしむる爲めに、醫者は手術の當初より苦心して居る事を少しも患者は知らないのである。予が一言せるは斬雲氏が外科病院の消毒の有樣を參觀せられて、醫師の苦心に同情せられん事を望み、同時に同氏が御說の如く御子息を醫者になされて、一般社會に醫學智識の普及をはかららると共に、一人の醫師を作るに如何に青年の勞力と親の學資を要するかを實驗せられん事を希望する次第である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

芳賀博士とその夫人

▲文學博士芳賀矢一氏をお訪ねする。博士は洋館の書齋で本の中に埋れながら、三人の男の客を相手に頻りに何か話してゐられる。客の一人は洋服を着た人であつた。その人が、

『ほんとに吾々男の着物は困りものだと思ひます。何んなにしても洋服ばかりで通す譯にはいかないで、一通りは和服を揃へて置かなければならないのですから。』と、此樣なお話しをしてゐられる。すると他の一人が、

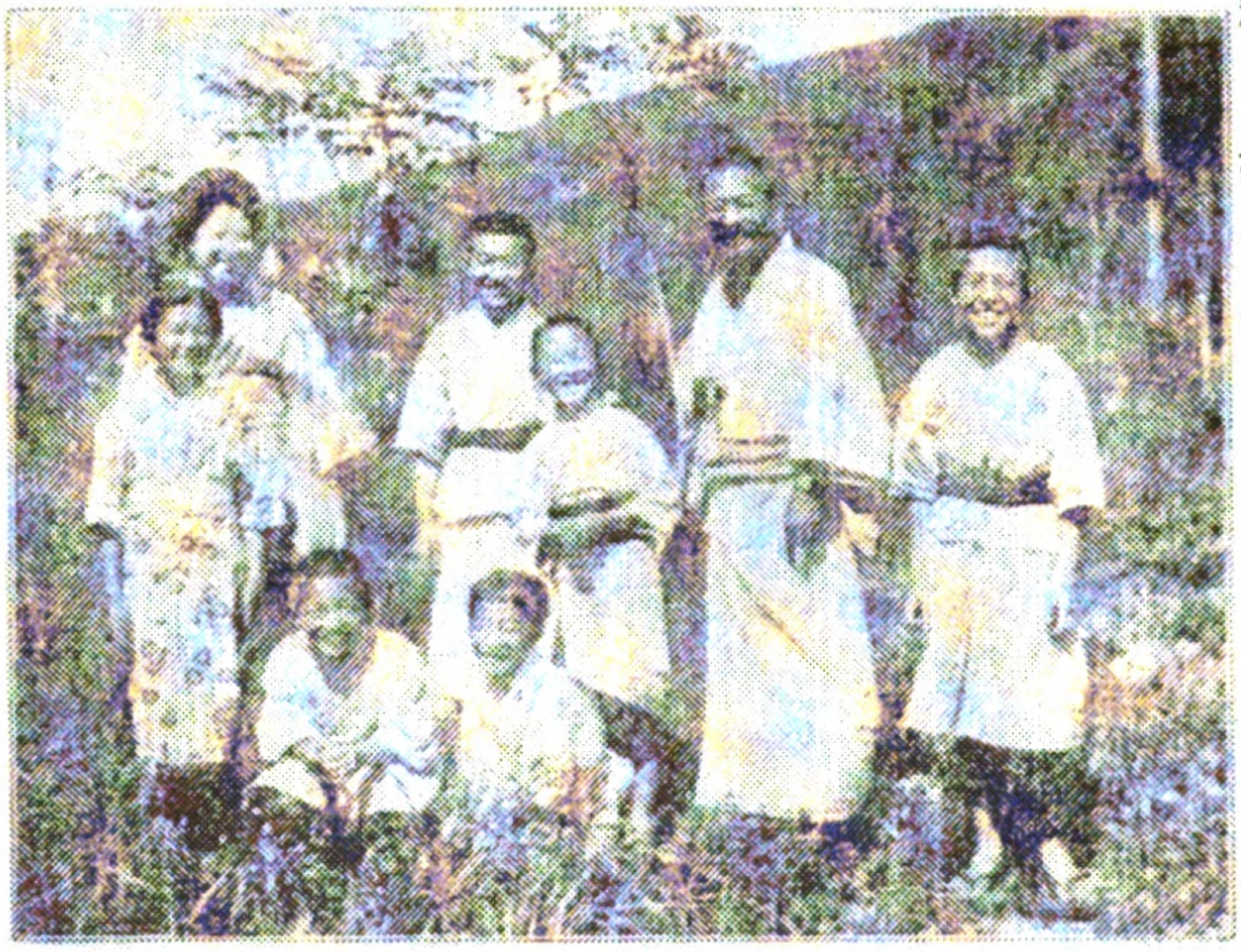
『然し日本の現代は生活が苦しいの何のと言つても、かうした二重生活が出來るほどまだ餘裕があるのでせう。』と言ふ。微笑しながら聞いてゐられた博士はこの時、

『さあ、さうも言はれませうが、一つには其樣な二重生活をしなければならないから、自ら生活も苦しくなるとも言はれるでせう。』

と言つて、面白さうにお笑ひなさるのであつた。博士は浴衣の上に太い滿絡縞の兵子帶をグル／＼まいてゐられた。

▲お客が歸へると私一人になつた。私は世間で八釜しく論じられてゐる種々な婦人問題と、お孃樣方の實際教育とについての御感想をお伺ひする。

『さう。今少しも其樣なことを考へてゐませんがね。上の娘は二人とも他家へ縁づいて、姉の方は二人の子供の母となり、妹の方も現に一人子供があり間もなくお産がある筈だから、近々二人の子供の母となるでせう。』と、



輕井澤に於ける芳賀博士と令孃令息

博士は情ぶかいお祖父さまらしくにつこりと微笑し、『此の前外國から歸へる時に一寸立ち寄つて會つて來ましたよ。子供は丈夫さうに育つてゐました。姉の方は此家の近くに住んでゐますけれど、妹の方は朝鮮の方にゐますのでね。』

このお若いお祖父さまは體ぢうを笑み破れるやうにゆすぶつて、お孫さまのお噂をなさるのであつた。平和な空氣が漲つてゐる。奧樣にお目にかゝりたいとお願ひすると、『家内はお目にかゝつてもお話しなど出來る女ではございませんよ。』と仰有りながら、廊下傳ひに奥の方へいらつした。夫人は姑に仕へる嫁として、世事に無頓着な學者の妻として、また九人のお子樣の母として、賢夫人の譽高い方である。謙讓に富んだ、聰明な方としても名高い。

▲間もなく夫人は出られた。謙遜な、生々した方である。

『私は近頃のお若い方さまをお見上げ致しますと、しみ／＼感心致します。よくまあ、色々のことがお出來遊ばすと存じました。私もせめて子供の手が放れてから何處かの講習へでも參つて見たいと存じますけれど、此樣な柄の大きい女でございますので、ほんとにうるさうございます、せめて小さくでもあるとお宜しいのでございますが……』と仰有つて微笑し、『よく娘達に手取早く學問が出來ると宜いけれどね、と申しますと、お母樣はさう仰有るけれど、試驗がすむとみんな忘れて了ひますよ、と笑ひますが、たとへ忘れても一度お教ひしたことは肉になつて居りますから殘念に存じます。』

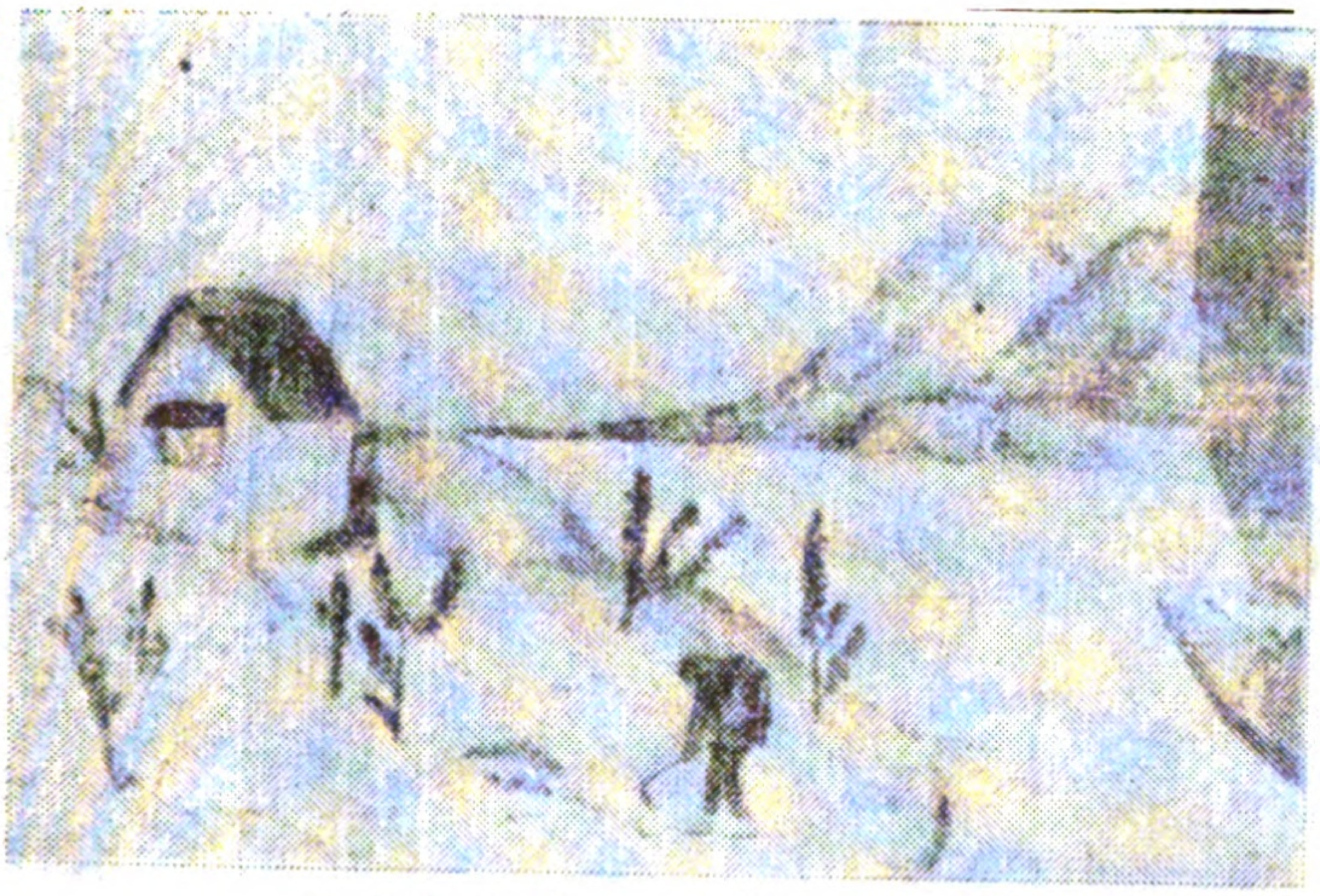
七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院展二科を窺いて見る記

―二婦人の批評を聞く―

▲美術の季に入つた。上野の竹之臺では追つかけるやうに日本美術院と二科會との美術展覽會が開催された。成金が横行し、幾萬圓と言ふ繪畫が飛ぶやうに賣れて行く現世では、美術と言ふものが極めて一般的の色彩を帶び、人はお花見にでも行くやうな輕い氣持ちで、展覽會を窺くやうになつた。開會當日七千幾百人などゝ言ふ呼び聲があつたほどに恐ろしい人氣を負つてゐる。その入口と出口との間をぶらついてゐると、みんな一廉の鑑賞家のやうな顏をして、感心したやうな、しないやうな容子をしてゐる。學生がある。小僧がゐる。社員らしい人がある。老人がゐる。牛乳配達夫がゐる。女がゐる。私もその中の一人となつて、繪畫きらしい甲乙二人の婦人の後からそつと行く。勿論私も感心したやうな、しないやうな連中の一人である。繪畫きらしい二人の婦人は靜かに見廻つて、ぼそ〳〵と批評してゐられる。二人とも、今度來られたのは二度目らしい



瀟湘　小杉未醒氏筆

▲口三味線―（元祿姿の男女が三人腰をかけながら、唄本を見てゐる。大林千万樹氏作）

甲の女、此の間歸つてから考へて見ると、人物の中では之れが一番宜かつたやうですわ。斯うし見ると全くよく出來てゐますね。

乙の女、それから其の隣の山村耕花さんの駱駝ね。（沙漠の中に二匹の駱駝のゐる强烈な色彩の洋畫式の屏風）昨年のものより數等よくなりました。が淊を塗りつぶした贅澤な繪ですね。然しその爲めに色むらもなく落ちついたもの、筆がよくこなしてありますわ。

甲の女、洛外六題（速水御舟氏作）初め一寸は變な繪だと思つたけれど、よく考へると實に面白い繪ですね。

乙の女、全くですよ、之れを見ると一々自然を人に說明しなくても自分の感じを僞りなく現はしさへすれば宜いと言ふ氣になれますのね。わだつみの宮（大智勝觀氏作）は感じの宜い繪ですね。

甲の女、全く。それから切支丹と佛徒（前田青邨氏作）は何うお考へなすつて。

乙の女、構圖が巧みですね。横山大觀さんの秋色、雲來去、達磨は如何。大觀さんの秋色の鹿はどうだらうと案じてゐた人もあつたけれど、可成りですわ。

甲の女、矢張り何を描かしても大家は違ひますわ、雲來去の雲は雪の名人であるだけに隨分細かく出來てゐますこと。

乙の女、八朔、山村耕花氏作）を見ると何處までも此の人は色をさう多く使はずにゐて、使つたやうに感じさせる一種の技量を持つた人ですね。

甲の女、法然上人（木村武山氏作）は相變らず奇麗だとあなたはお思ひなさらな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

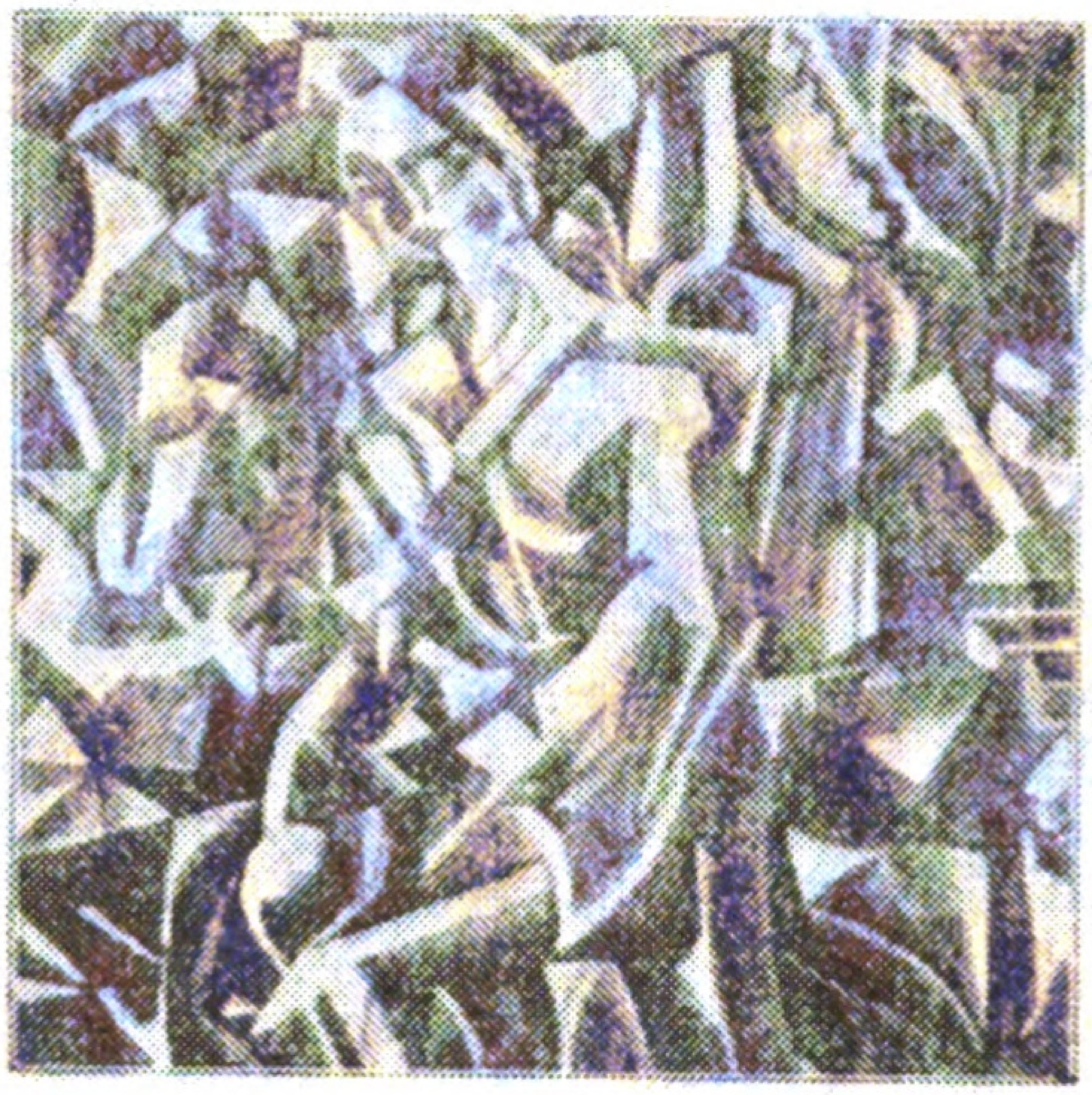
乙の女、筆がよく使つてありますね。ほんとに美しい。青金が一つは裏から使つてあります。

甲の女、神戰の卷(二)荒山縁起、川端龍子氏作昔二荒山に蛇と百足とが住んでゐて、人をなやましてゐたのを退治して、平和な社が建てられたと言ふ傳説を描いたもの。)全體の構圖が實に面白く出來てゐますね。取り方も宜いし、現はし方も宜いと思ひますわ。

乙の女、ほんとに川端さんは窮屈でなく、うまく收めたものですね。支那人が箱を作つたやうな不間な所があつたり、畫中の人は土で作つた土人形が立つてゐるやうに見え、蛇などは二匹に見えるやうなのに。實にこなし方が上手ですわ。

甲の女、竹取物語(小林古徑氏作)は評判ほどに宜いものだと私には思はれませんの。

乙の女、平常の繪が眞面目で、そして忠實だから、今度のがさして眼立ないのでせう。桐の花(眞道黎明氏作)徐福(筆谷等觀氏作)于蘭盆(朝井觀波氏作)は何れも可もなし不可もなし、と言ふ程度でせうね。それから熱國の夕(堅山南風氏作)は何うお思ひますつて。



未來派の一つ「彼の女のすべて」
東郷青兒氏筆

甲の女、さうれ。あの方はわざ〳〵印度へまで入らしつたのでせう。でも私、それほどの價値はないやうに思はれてなりませんの。熱國の夕を見てゐると、それは芭蕉の葉は青く繁つて熱國のやうに思はれるけれど、大して熱いと言ふ感じは起りませんわ。

乙の女、さうですれ。私もそんなに思ひますの。でもあの方が印度へいらしつたのは冬だつたでせう、慥か。

甲の女、ぢや熱國の冬の夕べな譯ですか。

乙の女、鎌倉の一日(牛田雞村氏作)は書き方に變化はないけれど、しんみりした、落ちついた筆ですわね。少しも線に苦しめられた所が見えませんわ。

甲の女 よくあれ丈書きつゞけたものですね。夜になつて一日が終つた所は宜い。長い一日だつたでせうね。

乙の女、後堂(山口草平氏作)は感じの宜い繪、麓(矢野橋村氏作)は南畫の本家のやうに思はれてなりませんわ。今迄とまるきり異つたんですもの。

甲の女、潮盈つ珠潮干る珠(名取春仙氏作)は何うしても私に分らない。多分物語から取つたんだらうと思ふけれど。

乙の女、小川芋錢氏の澤國五景は香の物でお茶漬けを食べるやうな、相かはらずさらりとした感じのする繪ですね。ほんとに氣持ちが宜い。斯うして見ると一つも無駄がない。何だか平常の文展に比すると此方はどうしても頭の繪のやうに思はれますわ。

甲の女、ほんとにしかつかりした感じが致しますわね。

▲二人の婦人は出ていつた。油繪の所では小杉未醒氏の瀟湘の前に立つてゐたが、何を話してゐられたのか聲が小さくて分らなかつた。二科會の方ではつい其の人達を見失つたけれど、二科會の最後の室に未來派のものが十ばかり出てゐた。それは可成り分つたやうな分らないやうな顔をして見る人が多かつたが中には、圖案だよ、と言つて行き過ぎる人のあつたのには少し驚かれた。さう言ふ私も實は分らないけれど、ジッと見てゐると心の底に震へるある物を感じずには居られなかつた。

九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

身體異狀の兒を有つ家庭へ

薄田斬雲

□腦水症の兒

此處に一人の男の兒があります。未だ生れない胎兒の時、熱病に罹つた爲めに、腦水症となり、人並みの健康體ではありません。今年十二才になるが、腰がきまらず、視覺も不定です。其爲めに歩行の際、ぶら〳〵して見當が正確でないのです。併し、別段低能白痴でもありません、毎日學校へ通ふて讀書や暗記物は甲か乙の點數です。唯だ視覺が動揺する爲めに手工と圖畫と習字は劣等になります。夫れと幼時の發育が後れた爲めに今も同じ年配の兒と同格に惡達者な眞似は出來ません。足元が危なく、見當が付かないし、腰が極らないから、一種の高等不具者です。體操と遊戯は常仕缺席にして居ます。又視覺が定まらない爲めに、オイそれと、直ぐ物を見付ける事が出來ません能く〳〵見なくては見當が付かないのです。其癖視力が足らないのではなく、一度見付けたら飛行機も認めるし、疊の上の針も認めるのです。

□弱者苛めの惡戯

併し此の兒は世間普通の兒の樣に達者に駈け廻れない爲めに、仲間に惡戯をされます。學校の構内に在つて、同級生、上級生の爲めになぶりものにされるのです。一寸推せば轉ぶ事があります、帽子を突き落されると、直ぐ見付けかねて、おろ〳〵して居ます。で、弱い者いぢめを好む人間の本性上、學校の運動場や校庭に於て皆んなが寄つてたかつて此兒をなぶるのです。一しきりは、學校の往復の途中、大勢の生徒が、後から來て帽子を叩き落したり、カバンを奪つたり、草履を鼻へ突き付けたり、盛んに惡戯をしたのです。其の母親が少し離れて知らぬふりで見て居ると、町ッ子の餓鬼大將が先づ其の兒をいぢめる。すると、他の生徒等も尻馬に乘つて惡戯をする。見て居てはら〳〵するといふのです。之を知つた其の父親は、憤つとして、其んな惡い生徒等を片端から撲殺してやらうと考へたのです。併し其夜熟考すると、身體異狀の兒を、獨りで通學させるのが、宜しくないのだと考へ直しました。當分は人を附て送り迎させました。すると、次第に往復途中の惡戯が止んだのです。

□救濟法の一案

處が此頃になつて、休息時間に廊下や校庭での他生徒の惡戯が又始まり、其兒が毎日家へ歸つて來ては浮かぬ顔して「皆んな意地が惡い」とべそ掻いて居るのです。どうも校庭の休息時間や廊下や階段の上下杯に於ける惡戯ばかりは、親の方で防ぐ方法がないのです。世間には斯樣な經驗に業を煮やして居る親達も少なからぬ事と思ひます。で私は一つの救濟案として左の方法を皆さんに相談したいと思ふのです。

「多少身體に異狀がある生徒を一所に集め、校長先生一同の前で之を全校の生徒に引合せ、其の異狀ある生徒の病歴や負傷の事情を語り、弱い者をば庇ひ劬はる樣に生徒一同に訓戒するのです。そして、其上、尚ほ、惡戯をする生徒をば、嚴重制裁する事を宣告し、其旨生徒の父兄全部に注意書を送るのです。夫れから其の異狀ある生徒の組丈けには先生から特に訓戒を與へ其の弱い生徒をば組全體で保護する樣にさせるのです。」

斯種の經驗ある方や名案ある方のお説を承りたいと思ひます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供の噂は

成る可く避け度い

―大人に戯言でも子供には大問題―

淺田みか子

○子供心に感ずる矛盾　噂にせよ、陰口にせよ、自分の居ない處、或は自分に氣付かれないやうにして話される話と云ふものは、假令、それが惡い性質を持つて居ない迄も、自分に就いてどんな話をして居るのであらうと云ふやうな心持を、大人でも子供でも必らず起すに違ひありません。特に子供の時分には『自分の事を大人の人達はどんな風に思つて居るかしら。』『一體何の話しでせう。』とおちつと立ち聞きする事もありませう。もしも其の話が、何でもない、子供の心を痛めないやうな輕いものならば兎に角、褒めれば褒めたで多少誇りを持つやうにもなりませう。と云つて、成績もよくお行儀もいゝのに、『學校の方も成績が上りませんし、惡戯者で困つて居ります。』などゝお客樣に話して居るのを聞けば、自分に對しては常時も褒めて呉れる母親が、なぜ他人に對してあゝ云ふ事を云ふのであらう、前の言葉と今の話と、どつちが眞實であらうかと、子供心に矛盾を起すやうになります。大人は何の氣なしに、客に對する一つの愛相位ゐに輕く見て云つて居る言葉が、子供に對しては實に重大な問題であるのです。

○實質通りに話す事　ですから蔭で云ふ噂の類は善惡に拘らず、子供の教育上面白くない事が多いやうに思はれます。西洋人は、子供の事を話すのに、實質より加減して話す事はありません。學校の成績がよければよいと話し、柔順ならば柔順だと申します。然し子供の缺點は成るべく話さないやうにして居ります。此處は日本の家庭の大に學ぶべき所であつて表裏と云ふ事を更に知らない子供のために是非努めなければならない事であります。

○笑ひ話も心配の種子　又こんな事もございませう。子供が遊んで居る間に幾つかの失敗を演ずる事があります。それを大人が見て居て、他人の來た時『この子は斯々云ふ事をいたしました。』と話して笑ひ興ずる事もあります。子供が傍で聞いて居て、矢張り笑つて消えて終へばそれ迄でありますが、子供に依つては、自分の事を大勢の人に話されるのをひどく恥しがる性質のものもあります。そんな子供に對して、『また母さんは私の事を話して居る』と云ふ感じを持たせるのは、遂に子供をひがませるやうになります。

十一

消化劑としての味の素

日本消化機病學會雜誌第十六卷第二號に臺南醫院氏原均一博士及片平重次氏の發表したる『再び「モノアミノ」酸屬の「チアスターゼ」催進作用に就て附『味の素』の澱粉消化作用に及す影響に就て』の一節に曰く「アラニン」「グリココール」「グルタミン酸」味の素は一〇%可溶性澱粉液中に僅に一〇%の微量を以てするも既に各種「デアスターゼ」の糖化作用を著しく增進せしむ。坊間鬻ぐ所の「味の素」は吾人に美味感を與ふる「グルタミン酸を約三〇%含有するが故に澱粉食を主食とする吾人には缺く可からざる消化催進劑にて特に重症患者にて食志缺損せる場合には唯一の味附兼消化補助劑なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

から、同じ笑ひ話をするにしても餘程手心が必要であります。要するに子供の名譽心を傷けるやうな毒味ある噂は勿論、其他のものでも、成る丈け子供の批評がましい事は避けたいものでございます。

秋茄子

風雅な用ひ方

記者

□茶煎茄子　秋の末の小さい痛みのない茄子を擇び蔕を殘して蕚をきれいに取り、又先に付いて居る花をさまりの處を一寸切つて置きます。次によく水洗ひして縦に一分たき位ゐに庖丁を入れて茶煎形をつくり、これを茹でます。ざつと茹で上りましたらば水に取ります。別に鍋に材料を蔽ふ位ゐの味淋を入れ砂糖と色の濃い醤油で適宜に味をつけて、汁が半分位ゐに煮詰る迄煮ます。そして下し際に唐辛子の種子を拔いたのを入れて又一寸煮ます。これを一兩日經つてから再び火にかけて置けば暫くは貯藏して置く事が出來ます。

斯うして汁がなくなりましたらば、以前の如き汁を作り足しては、折々煮返して置けば、いつまでも保たせる事が出來るのです。

尙ほ茄子の色を美しく生々しくさせて置くのには、前の如くして茹で、水を除いたものに、生酒、鹽、ざらめの灰汁引きたものゝ分量に入れて煮ます。其の煮上つた處では充分の色を出す事は出來ませんが、二三回煮る間に茄子其のまゝの色になつて參ります。

□葡萄茄子　これも矢張末の小茄子で作ります。充分痛みのないの擇び出し蔕を除つて丸く黑皮を剝いたものを水に浸して半日位ゐ(然し長く出せば尙よし)灰汁出しをします。これを煮沸した熱湯で茹で、一旦水に取つて冷やして置きます。別にざらめの灰汁引に生酒鹽を少々入れます。分量は生酒一、ざらめの灰汁引二位ゐが適度です。この汁を茄子の上二寸ばかりの處まで入れて文火にかけて半日程煮ます。茄子と汁とがしたくになつた處を程度として其の中に酢を一寸落します。つまりこの酢加減で葡萄の味を出しますのですから、餘り多く入れないやうに注意しなければなりません。

煮上りましたらば下して鉢に入れます。尙ほ時々二三回火入れをすれば、一年間位ゐは安全に貯藏する事が出來ます。以上のものは煮ます時箸でかき廻すのは、絶對に禁物ですから、もし鍋の底に焦げないまでも、ひどく抑へられるやうな氣がした時には鍋をゆすぶつて置きます。葡萄茄子は色が青く上る程よろしいのです。之れには金屬類の鍋より、瓶を使つて煮るのがよろしうございます、

□梨のわさび和へ　梨の水氣のある上等なのを皮を剝ぎ芯を入れないやうに笹切します。別にわさびを下したものゝ中に三盆砂糖を少々入れて鹽梅し、これに梨を入れて、和へます。お茶菓子、猪口類に用ふのに妙です。

大島バタ通信販賣

東京灣三十里の東にある空氣清新、四季綠草なもて覆れたる天與の酪農地伊豆の大島に産せる純良、風味卓逸、心地よき黃金色の最上バタを試みられよ

定價　半斤　金五十五錢　壹斤　金壹圓

東京銀座二ノ十二紀伊國橋
佐野商會
電話京橋一四四番
振替東京三四九六二番

化粧問答

問　私は白粉を塗つても何時も直にムラが出來たり、鼻の上がはげたりするのですが、何か宜い法はないでせうか。(芝芳子)

答　白粉は何をお使ひか知りませんが、クラブ白粉のやうな上等の白粉なら斑になつたり剝げたりする心配はありません。尙、白粉を塗る前には是非クリームを附ける必要があります、以前は堅油を顏へ塗つたものですが、臭氣がある爲め此頃では使ひません、今では皆一番よくきくアレ止日焦け止め兼用のお化粧下クラブ美身クリームをお使ひになります、クラブ美身クリームを少し掌に取つて襟から顏へかけスッカリ斑のない樣に擦込み、夫からノリも延びも天下一品の稱あるクラブ白粉を叮嚀にお塗けになれば、ムラも出來ず又お化粧の持ちも一番宜しう御座います。

問　私は眉毛が薄いので、色々な黛を使ひましたが、反つて毛が脫けて困つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

足袋と蚊帳のつぎ當て方

河口愛子

□足袋の穴のあいた時

足袋の補綴には、矢張り古足袋のいゝ處をとつて用ふるのが一番よろしいやうです。指先きとか、鼻緒の當る處が穴になつた時には、それより少し大き目の補綴切を表と裏の間に挾んで前にも記しましたやうに、穴の周圍に挾を入れ、丁寧に折り曲げて細かくかゞり縫ひをして置きます。股の處の破れは表から被ぶせてあてます。少し丁寧にいたすには、底切れに着いた部分を離して縫へば、股に當布した時のやうに手奇麗になります

□透切した部分

穴と云ふ程でなく透切した部分には、細い糸、(木綿の仕付糸などが丁度よろし)で、横へ一方に刺して置きます。外甲の指先きが長く切れた時には、別の布を當てゝ切れた部分だけ新らしく作ると隨分長く保ちます。

底の場合には糸を横に密着するやうに幾本も渡し、底の織り方と同じやうに、縱に細かく刺して行きます。これは糸と糸とがきつちり付いて居ないと、切角手數をかけて刺しても亦直ぐに穴になりますから、疊の目のやうに透きなく刺縫いたして置くのです。

□メリヤス類のつぎ

メリヤスや靴下などの切れた處へ普通の補綴布を當るのは、見苦しいばかりでなく、靴下などの時には、足あたつて具合が惡い者でにす。其時には圖に示したやうに同じ色の木綿糸或は毛糸で小針に刺て行きます。編みものと同じやうに見えますから手奇麗に補綴が出來ます。編物は凡てこの方法でいたします。

□蚊帳の補綴

これは前のものとは一寸種類が異ひますが、蚊帳に普通の補綴切を當てたのは隨分見苦しいものであります。あれは

其の切れた部分の横なり縱なりを、同じ色糸で一本殘らず繼いで置き、他の一方は針の先きで糸をすくひながら後先きを繼ぐやうにすれば、蚊帳と同じやうに織り目になりますから一寸わからなくなります。もう蚊帳も藏ふ時期になりますから、破れ目など斯うして繕つて置くと宜しからうと存じます。

て居ります、何か良い藥はありませんでせうか、(神田 美代子)

答 如何はしい品をお使ひになると益々毛が惡くなる計りですから今度クラブ白粉本店から發賣されたクラブまゆずみのやうな純良な品を用ひ形をよくお作りになりますと、如何にもわざとらしくない自然の蛾眉を現はし、眉毛の爲めにも一番宜しうございます。

問 私は顔を剃るのが嫌ですから白粉が乘らないで困ります何か化粧法はありますか、(麹町 茂子)

答 ムク毛のある方には煉白粉は乘り兼ねますが、何も煉白粉を使はずとも美しいお化粧はいくらも出來ます、先づクラブ美身クリーム(又はクラブ美身ゼリー)をお化粧下としてお引きになつて其上へ、クラブ刷白粉をポットで押へ加減に刷付け・別の刷毛で浮いた粉を拂ひながら輕く撫で延ばし搾りタオルで眉毛、睫毛などの浮粉を取りますと・瀟洒としたお化粧が出來上ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（十七）

薔薇のお姫さま（下）

琴子

薔薇のお姫さまの聲は怒つたやうな聲でした。けれどもデビッドは、おかまひなしに庭をあちこち歩いて居ました。其内、前に見た事のない、珍らしいものに目がつきました。

「こりや何だらう。何かわけがありさうだなあ！」と大きな聲で獨言を言ひました。「ありますとも、それは、「日時計」ですよ。お陽さまの工合で、時間が解るのですよ。」ばらのお姫さまは「こんな子と口をきくのをよそう」と思つて居ながら、遂ひ釣込まれて言つてしまひました。

するとデビッドは「ああさうか」。と言ひながら、しきりに「日時計」の上に書いてある字を讀んで居ました。ばらのお姫様はあきれて、デビッドの顏を見て居ました。「ちよつと、まあ！あなた誰なの？ラテン語が讀めますの？」「讀めますとも！あなた讀めないの？——一體、あなたどこの人！誰れなの！」

よつぽどあきれたと見えて、ばらのお姫さまは幾度もさう言ひました。「僕、デビッドだつて言つたぢやないの」「けれども、どこのデビッドさんなの？どこに住んで居らつしやるの？」「たゞ、デビッドと言ふ名前よ。前に父さんと山に居たけれど、今はハアレーさんの家に居ます」。「あゝ、あの「宿——」あの方ですか」。

あの「宿無」と言ひかけて、大急ぎでよしました。

「さうです。これなんて言ふわけ？「曇りのない時間だけを計る」つて？」

「そりや、其通りぢやありませんか。太陽の出て居る時に、「日時計の中に影が出來ます。その影で時間が解るのですよ。日の出ない時には影がないでせう、ですから時間を計る事が出來ないのです。」

「あゝ、さうですか。好きな言葉だなあ！エ？お好？」「だつて、僕もさうするんです」。「どう言ふ風に？」ばらのお姫様は知らず、知らず釣り込まれて、面白くなつて來ました。

デビッドは笑ひながら、お姫様の側へ來て座りこんでしまひました。

「どう言ふ風つて、面白いでせう？いやな時間は皆忘れてしまふの。そして面白い時間だけ數へるのよ。さうすると僕には四時迄はちつとも數へる時間がありやしないや。一寸休みの時間位だ。」

「あなた、隨分面白い人ね。ぢや四時迄する仕事はいやな事なの？」

「えゝ、そりや。芋をほつたり豆をぬいたり、するんだもの。僕、そりやまだいゝけれども、草むしりが一番いやだ。だつてきれいな草をぬいて枯すので可愛想だもの。」

「さうね。」

「僕、これからさうしやう。いやな時間は皆忘れるんだ。あなたもさうするといゝや。」

それから、しばらく、二人は默つて、座つて居ました。ばらの御姫様は、デビッドの様子をぢつと見て考へて居ました。もう、向ふの大理石の石段の上にも、芝の道の上にも影が長くのびて、太陽が木のむこふへ沈んで行きます。デビッドはヴアイオリンを取り上げて、靜かに彈き出しました。

ぢつと、聞いて居た御姫様はそれがすむと急に立ち上りました。

「さあ、行きませう。こんなにくれてしまひました。私も家へは入りませう。[illegible]

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なさい。さようなら」
薔薇の御姫様は、すつかり打ち解けて、やさしい顔で言ひながら、家へは入りました。
デビッドも家へ歸りました。歸つてからも、ばらの御姫様の事は忘れずに居ました。
それから、後幾度も、もう一度行つて見たいと言ふ氣がして居ましたが、行く時もなく幾日かたちました。

月夜の市（中）

波留子

ジャックリンヌは藪陰へさしかかると月の皎々と照り渡つて居る山の上で、女神達が種々珍らしい品物を取扱つて居るのを見ると、恍惚して思はず感歎の叫びを放ちました。一寸目馴れない白衣の婦人の異形な姿を見ると、最初一時は驚きましたが、根が物好きで大膽な娘の事ですから、氣味を惡がつて後退りする樣な事もせず、おつと立つて平氣で見て居りました。
女神達は大勢出て來て口々にジャックリンヌを呼び立てます。そして何でも好きなものを其品物の中から選り取るやうにと、口を極めて彼女の好奇心をそゝりました。
「お買ひなさいな、お買ひなさい」
金や金剛石や美事な切地や樣々な貴重な品を、少女の目許につきつけながら、口を揃へてジャックリンヌを誘ひます。
「あれ奥様、どうか御免下さいまし、全く氣が附かなかつたのでございます……」
娘は老功た口振でから愛想よく謝罪はしたものゝ、少しも心に怖れる事は御坐いませんでした。彼女は歩みをかへす時に一寸横眼を使つて品物の價踏みまでしました。
「可愛らしい娘樣、貴女が心置なく買物が出來る方法を考へますから何でもほしいものをお取りなさいな—」
「女神達は馴れ〳〵しく彼女に近附いて手を取らない斗りに勧めます。
「えゝ、何と仰在います」
娘は目を丸くしました。
「それは何も困難しい事ではありません、貴女が一つ買物をしたら一本髮の毛を脫いて下さる、それで澤山です」
ジャックリンヌは皆が自分を馬鹿にして嘲弄うのだと最初は思ひました。けれども女神達は眞劍で彼等が提供した條件は、全くだまかしでも虛言でもない事を幾度も〳〵も云ひ確かめて何々娘の鼻先に欲しがりさうな奇麗なものを代る〳〵見せびらかしました。
可哀さうに、田舍娘は悉皆我を忘れて了ひました。驚愕と喜悅とは一時呼吸が止まつて了つたかと思はれた程でした。
「金剛石の櫛でも眞珠の腕輪でも髮の毛一本で買へるの、若し是が夢でなければ世界中の王様達なんか私の從兄弟にもなれやしない」

子供のせかい

尼さまの犬

四ッ谷見付のそばの双葉といふ學校の中に、フランスの尼さん方が澤山住んで居られます。こゝの先生が、きうにお國にかへらなければならなくなりました。尼さまは別れに臨んで飼犬のたまの頭を撫でゝ「丈夫でおいで、私は遠くはなれても皆さんがかはいがつて下さるよ」と申しますと、さも悲しさうに尾を垂れて、低くうなつて居りました。いざ尼さまがこの家を出やうとして車にのらるゝと、犬小屋につないでおいたたまは、どうしてか玄關に走つてきて、尼さまの足もとに頭をすりつけて、かなしげにうなつてはなれません。尼さまは涙にぬれて思ひきつて車をいそがせました。たまはその後どうしてもご飯を食べずに餓死したとの事です。

十五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

犬と彼等（六）

高田てい子

K院内の一ばんいゝ眺めを占めてゐる池畔のあづまやで、一日のうちの幾分間かをすごすのが殆どおれいの日課になつてゐた。

そこは彼女が沈思の時をほしいまゝにもちうるめぐましい禮拜所であつた。池の面が濃いべに色で一ぱいに染められる夕日のながめも、金緑色の木の實をふりまいたやうな空の星をうつしてゐる夜も、太陽が無數の金線をなげちらす朝も、樹々のみどりや、大空や、浮動してゐる雲をいだいてゐる眞ひるどきも、見あきのない變化がそのあたりを美しくしてゐた。

ごた／＼した家の仕事に一區ぎりをつけてから、そこへ出てゆかうとするおれいのあとを、とみは必ず追つてきた。そして着物の裾にかみついたり、なめくじの這ふやうに足を舐ぶつたり、顔のほうまで飛びついたりして、たび／＼彼女の靜肅をこわした。

ある朝おれいは茂りのこい樹のかげに蹲くまつてとみから隠れた。そして見つけられまいとして葉の隙から凝つととみを注視しながら、とみが動くとほりに自分もうごいた。しかしとみは避けてゐるおれいをすばやく見つけて、短い四肢を綾糸のやうに運ばせながらおれいに突貫を試みだした。おれいもそれに連れてぐる／＼樹のまはりを逃げてゐたが、しまひには本氣な負けん氣で走りはじめた。彼女は何分かを犬と一所に夢中で走りつゞけた。

「あゝ今私は全くの犬であつた」

とおれいは荒い苦しい呼吸を押へながらそう思つた。いつも蒼白い彼女の頬には血がうつくしく小跳りして、汗は額を濡らしてゐた。

その後も彼女はをり／＼犬に化つた。祈によつて、大いなるものとの一なる體驗を期しながら、かへつて卑い動物のうちに自分を沒くする、この皮肉は、おれいを苦笑させた。しかしそれが彼女を少しも不快にはしなかつた。むしろ快いたのしい反響を、その身心に意識することが多かつた。

おれいはまたとほい／＼記憶の底に沈んでゐた、彼女に於ての原始感情をとみによりて、掘りかへされた。そして、「まあ自分はどうしたといふのだろう」と目をみはつて驚くおどろきをその感情内に發見した。

十六

ある夕ぐれであつた。おれいは冷い水をなみ／＼とバケツに汲みあげて、

「とみ、とみ、さあおいしい水を飲ましてあげるのよ、此方へおいで！」

と呼んで、走つてきたとみの口元にバケツを寄せた。とみは一寸嗅ぐやうに鼻をさげたか、欲しくなかつたのかすぐ離れてしまつた。その小憎くらしい冷淡と、厚意を裏ぎられた弱者への反感が、おれいを意地惡るな暴君の態度にかへた。

「飲みなさいよとみ！　折角汲んであげたんじやないの」

と彼女は無理にとみの頭をつかまへて、あらまし眼までかぶるほど、とみの顔を水に浸けてやつた。そこへ清伍がきた。彼は、

「とみ、とみこつちへおいで」

と呼んで、

「いやな小母さんだねとみ！

あの小母さんはとみが飲はない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

って云ふのに、水へ顔なんか入れたんだろう、あんないやな小母さんところへはもう行くんじやないよ、ね、さあこつちへおいで！　こつちへおいで！」
　と言ひながら、門の方に出ていつた。とみは大きい手球ぐらゐの體を可愛くころ〳〵させながら清伍のあとに走つた。二人はそれをみて笑ひ合つた。だのにおれいの心のどこかに、自分への批難に混じつて、本氣な口惜しさと妬ましさがあつた。
「いゝわよ私……」、子供じみたその投げ言葉が、あやしく彼女の脣を破ぶらうとした。おれいはひとりで笑ひつゞけてゐたものゝ、自分の全體が、おかつばさんの子供時代にまで縮小してしまふやうに感じた。
　拒ばまれた親切が反感となり惡戯となり、つひに遊び仲間からのけものにされる。彼女は自分の惡るいのを知つてゐる。しかし惡るかつたとわびるのは意地がゆるさない。それでゐて仲間はづれにされたことが、寂しくて口惜しい、また遊んでゐる彼等がいかにも妬ましい。やがて「いゝわよ私……」と妙に入りくんだ氣もちに焦々しながらパチ〳〵と忙しく目瞬きして、脣をゆがめて、頰をふくらまして、未練らしく友達をふりかへりながら、しかしどこまでも反抗的な強さをみせて、仲間をはなれてゆく……」
　おれいは子供の時のこういふ自分を見た。どんな事で、誰と、いつ頃といふ具體記憶の線はきれてしまつてゐるけれど、それはかつてたしかに彼女が味つたことのある幼い感情の甦りであつた。
　おれいが庭掃きしてゐると、とみは蝶のやうに箒のさきにもつれてきた。彼女が叱かつて、追へば追ふほど、とみは滿足さうであつた。そして、喉をならしながら。狂うやうに反逆してきた。とみにとつては、これが最上の幸福なあそびなのであろう」と、おれいは思つても、我慢ができなかつた。つまらない仕事に、倍の時間をとられるといふことなども、一層彼女を憤らせて、箒の柄で小さい體をなぐりつけるのであつた。とみは逃げながらキン〳〵泣きつゞける。とおれいは涙であたりが暗くなるのを感じた。短氣で癇性な彼女は、小さい頃、爭ひのたびに弟たちを打つた。そして打たれた弟が平氣なときでも打つた彼女はきつと泣いた。神經性な悶々した心から何かに八つ當りしたあとでも、彼女はかくれてそつと泣いてゐた。自分のそうした行爲が子供心にもたまらなく悲しかつたのだ。もはや久しく彼女のうちに絕えてゐたそういふ涙が、「對とみの場合」に露骨に出てきたのをおれいは驚いた。
「それでもとみ！　私はおまへに對して丈けでも、自然のまゝの心の行爲をゆるされてほしい。愛も憎くみも。好みもいとひも。愛するまゝ愛して、憎くみのまゝに憎むことを。そこに善とか惡とかの差別を設けないで……。道や敎へのない盲目なおまへの世界に少しのあひだ私を休ませてくれ。とみ！。こうすべきだ。そうしなければならないと、おまへにまで緊張を感じなければならないのだつたら……？」
　おれいは愛憎の極度を、氣まぐれにとみにあらはしたあとでは、とみにさへすまない自分だと責みられた。責められた後で彼女の心は註文とも、云ひ譯けともつかない言葉をなが〳〵ととみに語つてゐた。そしてそういふ言葉の內容を、もつと細かくきびしく調べていくときに、どういふ考へに打つからなければならないかといふことも、呆然ながら想つたりした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□京都行幸啓　天皇、皇后兩陛下には、去七月卅一日　明治天皇五年御式年祭の際御都合に依り　親しく御參拜の其儀なかりし爲め、來月初旬頃　兩陛下御同列にて京都に行幸啓、桃山御陵へ御參拜あらせらるべしと承はります。

□北白川宮御渡臺　北白川宮同妃兩殿下にには臺灣神社例祭の御參拜、並に本島各地に於ける　父君能久親王殿下の御遺跡地、其他本島一般狀況御視察の爲め、十月十九日神戸より御乘船、御渡臺あそばさる由承ります。

□御着帶御擧行式　東久邇宮妃聰子内親王殿下に於かせられては、十七日戊の日の佳辰を以て、めでたく御着帶式の御儀を執り行はせられました。

◉露國の動亂　露國に於ける莫斯古大會は、中產階級と勞兵團の反目を產み、端なくも首相ケレンスキー氏と　コルニロフ將軍の政權爭奪となり、將軍は立憲民主黨を始め舊官僚派に推されて『假令專制政治を復活すとも、自由主義を一掃して、祖國の危機を救はざるべからず』との主張の下にケ首相に政權を要求し、こゝに兩雄の一大爭鬪は開かれました。爲めに首相は親ら一軍を率ゐて之が討伐に向ひ、遂にコ將軍を捕虜となし、其の與黨を續々拘禁して居ります。此の間首相暗殺の　噂も傳へられましたが、社會黨の年來の志望であつた共和制は布告され、五名より成る戰時内閣の成立も近きにあらんと　豫想されて居ります。

◉佛國の新内閣　リボー内閣辭職後新内閣の成立は大に行惱みましたが、陸相として好評を博したる　パンルヴェ氏は今回愈よ新内閣を組織しました。近來　社會黨が平和克復を熱望して、國内の一致協力を亂した同國は、新内閣の態度如何により　て、開戰當時の擧國一致の狀態を見るであらうと望まれて居ります。

◉外人徵兵案の通過　米國上院は一箇年以上合衆國に居住せる　友邦外國人全部を、軍隊に徵發するを許すと云ふチャンバーレン氏の　決議案を通過しました。尤も徵兵を免ざるものに、九十日以内に合衆國を去る事が出來ます。此の案に日本人にも影響すべきもので　あると申します。國務省は下院の通過を待つて、同案に對する聯盟諸國政府と　商議を開始する筈です。

◉支那出兵　支那政府は佛國の勸告により、同國戰線に出兵する事を承諾し、差し當り約二萬内外を送る　事になりました。

◉歐洲第一の美皇女來朝　羅馬尼國の第一王女エリザベタ内親王は　ビクトリア女皇の曾孫じ　現時歐洲各皇室の皇女中第一の美人として謳はれて居る方ですが、その皇女が來る十月中頃浦鹽を經て來朝し米國に赤十字事業視察の爲　渡らせれるとの噂が傳はりました。

●新任伊國大使の參内　本邦駐劄伊太利國特命全權大使侯爵ルイシ、ツエロラー・モ・クサニ・コンフアロニエリ氏は十七日參内信任狀及び　前任大使の解任狀を捧呈し、更に立太子禮御擧行に就き、伊國皇帝より我　皇太子殿下に御昇進の通告あり、同國の最高勳章アンノンシャツタ勳章を捧呈しました。

◉特派員任命　世界の大戰に際し、海外列國の財政經濟に關する　施設を調査して、戰時並に戰後に於ける帝國の發展に資する爲め、今回海外特派財政經濟委員の制度を設け、取敢へず米國の特派員として目賀田種太郎男を委員長に　八名の委員が十三日任命されました。

◉二倍になる京都市　木内京都府知事の果斷によつて、今迄長い間の問題となつて居た京都市擴張も、愈々實現されることなりました。即ち市に隣接して居る柳原町外十五ヶ村を市に編入するので、府參事會は此の程無事に通過し、今は主務省の認可を待つばかりになりました。これが許可の曉には、從來東西二里六丁南北一里二十五丁の京都市は、一躍して東西二里二十丁、南北二里十五丁に擴大し、更に面積に於て千八百五十三町歩は　四千百卅七町歩の大都市となるのであります。

◉奠都五十年祭祝日決定　東京奠都五十年祭に、十一月三日　先帝御誕辰祝日を以つて行はるゝ事に決しました。當日は式場に　兩陛下の行幸啓を仰ぎ奉る事となりませう。式場はまだ確定しませんが出來る丈け上野にしたい　希望だそうです。

◉二科會の授賞者　展覽會開催中の二科會に（新夏の小路）岸田劉生氏へ二科賞を、（小笠原風景）林倭衞氏へ樗牛賞を授與しました。

◉大隈侯床上げ　大隈侯の病氣は其後漸次快方に向ひ、去る十五日には床上げの内祝を行ひました。然しまだ病後の衰弱がありますので、當分は引續いて靜養し來客にも接する事が出來ない由です。

◉女教員大會の研究問題　屢々記載いたしました帝國教育會主催の全國小學校女教員會は、來る十月二十日から三日間同會内に於て開かれ、全國四萬の女教員中より選拔の上百五十名が出席する事になりました。これが研究問題は最近左の通り決定しました。

（一）我國女子の身體を一層强壯ならしむる方法如何

（二）小學校に於ける有夫女教員の爲めに、勤務時間と俸給の減少、及び特別の規定を制定するの可否。

（三）我國小學校女教員の缺點の主なるものと、及び學力の乏しきことを認むるか、若し果して然らば之が矯正の方法如何。

（四）我國小學校女教員の擔任に最し適當する學級並に適せざる學級如何

（五）我國小學校女教員の服務上障さなるものありや、若ありさせば何々なるか。

（六）小學校女教員產前產後の休養は凡そ何週間を適當とするか。

△文部省諮問案　としては

（一）小學校に於ける女兒の教育上特に留意すべき事項如何。（二）小學校に於ける裁縫科の教授をして一層實効あらしむる方法如何。

△各自の經驗談　として

（一）國民教育上女教員の責任。（二）女子教育上改良すべき要點。（三）裁縫教授に關する所感。（四）女教員に適當したる校務分擔事項。（五）女教員並に小學校女兒の服裝。

◉横森刀自逝く　愛國婦人會東京支部評議員、及び日本赤十字社病院幹事、並に大隈侯夫人の會長たる兒童奬學會の理事長として多年　少が婦人會のために努された横森武良子刀自（六五）は十二日逝に逝かれました。刀自は過る三十年間自身の生活を詰めて其の費を注いで、只管各種の婦人事業を輔けた事は此の上ない樂さして居られました。十二日、刀自永眠に先立つて、赤十字總裁閑院宮殿下には刀自の功勞を賞せられ　木杯を下附せられました。

◉敎育ある家庭の慘劇　下谷區谷中初音町三の廿谷中睃太郎（三六）は　京大哲學專科の出身なるが、十二日夜産褥にある妻喜久子（三〇）、長男俊彦（三）、長女俊子（二）產後五日目の女兒を絞殺し、己れも縊死を遂げました。　喜久子は明治四十五年の東京女高師の出身で、現に東京市立實科高等女學校の教諭を勤め、月俸四十圓を取り、一家を支へて居りました。　睃太郎は屢々辯護士試驗に落第せるより、悲觀し精神に異狀を呈し、この暴擧に出たものと想像されます。　なほ葬儀は十五日雨の中を親戚

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

實科高女教職員生徒等によつて、三崎の觀音寺で營まれました。なほ有志は下手人なる暁太郎を除き、四體の親子地藏を同寺境内に建立して、冥福を祈るとの事です。

◉**教育視察校長團の渡米**　實業之日本社より派遣される、米國教育視察小學校長の一行十名は、佐々木吉三郎、岸邊福雄の兩團長に率ゐられて十八日横濱を出帆しました。團員は北海道、東京、廣島、新潟、横濱、名古屋、京都、大阪、兵庫、福岡の各府縣から集つて居ります。

◉**奠都祭の花の日**　花の日會では、奠都祭の當日を花の日と定め、例の通り菊の造花を賣り出すことになりました。今年は豫約は一切成さず、當日賣限りとし、諸物價騰貴の折柄、一個三錢に値上げする由です。

個人消息

△**尾崎三千代子**（紅葉山人三女十八歳）十月早々海軍中主計横尾石夫氏（二五）と華燭の典を擧げらるゝ事になりました。三千代子さんは東京高等女學校出身で文學の趣味深く、殊に綸盤は清方門下の才媛として人の知るところであります。

△**浮田操子**（法學博士浮田和民氏令孃廿一歳）今回早大商科出身の秀才原安太郎氏（二三）と婚約とゝのひ、十一月頃華燭の典を擧げらるゝ筈であります。新郎原氏は目下三井物產に勤務して居られ、頗る商才に長けた方ださうです。

△**井上ぬい子**　文學博士井上哲次郎氏夫人は先月より大腸カタルに罹り、療養中の處、腎臟炎腹膜炎を併發して十日逝去されました。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對祕密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午時四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、三、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御註文は必ず一切前金の事▲郵劵代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

廣告

看護法講習生募集

講習生三十名試驗の上採用す志望者は願書に自筆の履歷書戶籍本幷寫眞を添へ本月卅日迄に申込まるべし
○年齡滿十六年以上三十年以下の女子にして配偶者無く家事の係累無き者○入學試驗科目高等小學卒業の程度○十月四日午前七時半本院に於て試驗執行（辨當持參）○講習年限二年卒業の上は無試驗にて看護婦免狀を下附せらる詳細は自身來院問合せらるべし
九月

東京市神田區和泉町一番地
財團法人　三井慈善病院

シンガー裁縫院　生徒募集

●和洋服刺繡（東京有樂町一ノ五）
●ミシン專修　●毎月五日迄入學

牛込新見附

原田耳鼻咽喉科院

電話番町一三二一番

入院應需

院長醫學士　原田貞夫
原田三杉

齒科診察

府下千駄ケ谷町五百六十三番地

齒科醫學士　大久保透

十九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町 六二番
東洋内科醫院
院長 醫學博士 **高田畊安**

南湖院
電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印 赤 白
宮崎葡萄液
宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料
大小數種化粧箱
商品切手調進仕候
宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科専門
（入院隨時）
大野醫院
院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎**産婦人科**◎**小兒科**
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 **吉岡彌生**
東京至誠病院
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二三五七

英語生徒募集
高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者に
して英語初歩より學ばんとする者にも懇切に
教授す （ピアノ個人教授の需めに應ず）
英語専門私立 **櫻井女塾**
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

産科、婦人科、小兒科
女醫 **井出茂代**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院
○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電 京 二二三一番）

家庭衛生講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間 自毎月十六日至次月十五日月水金午后二時より四時迄。
一、講習料 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人之友社の三大雜誌

『婦人之友』

毎月一回　一日發行

一冊金二十錢　郵税壹錢五厘

主幹　羽仁もと子

『新少女』

毎月一回　一日發行

一冊金十二錢　郵税一錢

編輯主任　河井酔茗

『子供之友』

毎月一回　一日發行

一冊金十二錢　郵税五厘

主幹　羽仁もと子

東京雜司ヶ谷　**婦人之友社**　電話番町三六九八　振替東京一一六〇〇

生徒募集

師範科（四月及九月入學）家政科（四月入學）和服裁縫、刺繍、造花、編物、袋物、摘細工、絹細工、儀式用折紙並水引結方、縫細工、埋細工、染絞（以上入學隨時）

個人教授

裁縫手藝

詳細規則書郵券二錢ヲ要ス

東京市麹町區上六番町七番地

私立　**大妻技藝學校**

電話番町一二二〇番

振替東京三一一六〇九番

診察時間　自午後一時　至同九時

細谷ひで子齒科醫院

四谷區麹町十一丁目十三番地

女齒科醫　細谷ひで子

弊店の特色

御召　織式　縞染

△古手物モ新規同樣ニ相成候

△出來期日ハ殺モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候

△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地（玉川電車通西郷邸前）

百足屋染物店

平田孫太郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA